

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.12

平成28年1月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 **日本赤十字社** 那須赤十字病院
Japanese Red Cross Society



院長挨拶

新年のご挨拶

登録医紹介

橋本内科クリニック

部門紹介

地域医療連携について
～かかりつけ医を持ちましょう～

マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

マイタウンまつり2015

病院祭「マイタウンまつり2015」を開催しました!

お知らせ

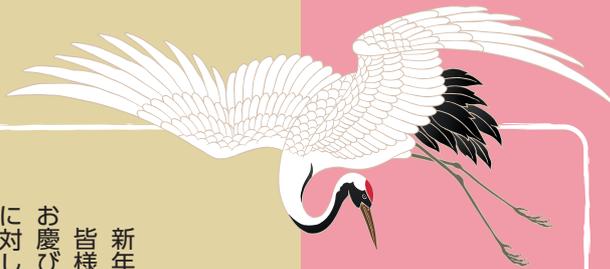
マイタウンまつり2015
ちびっこ写真撮影だよ!



マイタウンマイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

院長挨拶



新年のご挨拶

那須赤十字病院 院長 北島 敏光



北島敏光院長

新年あけましておめでとーございませう。皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃より当院に対して心温まるご支援とご協力を戴き、感謝申し上げます。

那須赤十字病院の前身である大田原赤十字病院は一九四九年七月に開院しました。つまり、第二次世界大戦が終結した四年後に設立された病院で、当時「国民病」と言われた結核を主に治療していました。その後、診療科を徐々に増加させるなど、診療体制を充実させることで地域医療に貢献してきました。しかし、開院して六十年以上が経過すると病院建物の老朽化が著しく、新病院

の建築が大田原赤十字病院から北東一・五キロメートル離れた中田原地区に開始されました。工期中に東日本大震災に遭遇しましたが、病院建築は概ね順調に経過し、二〇一二年七月に病院名を那須赤十字病院と改めて診療を開始しました。従って、大田原赤十字病院の開院から数えて六十七年目、また那須赤十字病院になって四年目となります。当院は県北最大の公的病院として、一般診療はもとより高度医療、救急医療、緩和ケア、へき地巡回診療、赤十字としての災害時の救護・救援活動など、多方面から地域医療を支えています。

初めて当院を訪れた人の印象は、「これほど立派な病院だとは思わなかった」とよく言われます。当院は地上十階建てで免震構造を有し、建物の形状は中心部から東西南北の四方に伸びる「ウイング型」になっています。外観は重厚で、那須連峰から日光連山まで見渡せる景観になっています。また、最新で高度な医療機器を用いて診療に当たっ

ています。

当院の基本理念は「マイタウン・マイホスピタル」地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に」で、地域住民の方々へ愛され、信頼される病院を目指しています。また、近隣の病院やクリニックと連携して地域密着型の医療を実践しています。

これからも、当院は栃木県北地域の基幹病院として貢献していく所存ですので、引き続きご支援、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



橋本内科クリニック

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている登録医の先生を紹介していきます。今回は「橋本内科クリニック」を紹介します。



橋本院長

橋本憲一院長先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

那須赤十字病院には日頃から医療連携で大変お世話になっており、感謝しております。当院でも多くお世話になっているのは放射線科の画像診断です。CTやMRIなどを予約すると検査当日には画像のコピーフィルムとともにレポートをFAXで、後にとちまるネットで入手することができます。緊急の検査予約に対しても応じてくれます。開業医にとって大変ありがたい助かっております。

また入院が必要と判断した患者様の入院に関してもスムーズに対応して頂いております。以前貴院から在宅人工呼吸器を使用している患者様の訪問診療を依頼されましたが、急性増悪時に入院を断られ大変困ったことがありました。他の救急病院に搬送してもらいましたが、そこでも手に負えず、結局貴院へ入院となったのでした。しかし、今ではそのような患者様は開業医・訪問看護ステーション・那須赤十字病院が連携して入院をサポートできる体制となり、患者様も我々開業医にとっても安心して在宅医療を続けられるようになりました。

貴院へ入院した患者様の退院報告と入院後病状が回復した患者様の紹介も、患者様の意向を聞いた上でよろしくお願い致します。私が大田原市で開業してから二十七年、開業当時と比べ東北地区の医療事情は大きく変わってきました。特に循環器の救急では以前は、宇都宮では助かる

患者も大田原では助からない。と言われてきましたが、救急医療体制が整い格差は縮小しています。那須赤十字病院を中心とした医療連携をさらに発展させることにより、この東北地区の市民の皆様が安心して暮らせるようになることを願っております。よりよい医療体制を構築するためには、我々開業医は日進月歩の医学に常に追いつくよう努力しなければなりません。これまで以上に貴院から講演会などを通して情報発信して頂き、我々を指導してくれるようお願い致します。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

休日に介護保険の書類や紹介状作成に追われることもありますが、時間が空いた時は、運動不足の解消のためゴルフに出かけたり、上京して美術館や音楽会に行きます。近々、東京都美術館で絵画を見てから、その足で新国立劇場へオペラを見に行く予定です。だんだん出歩くのが面倒になりますが、最後のチャンスと思えば積極的に出かけようと思っております。

最後に地域の方々、患者さんへ一言お願いします

当院も他の診療所と診療連携し、また那須赤十字病院と病診連携して地域の皆様方のお役に立てるよう頑張っておりますので、よろしくお願致します。

得意な分野の先生にご紹介したり、往診や訪問診療で都合が悪い時に代行しても

基本情報

らうなど、診療所同士で協力し合っております。また入院が必要と判断した患者様がスムーズに入院できるように那須赤十字病院とも連携しています。このように地域の医療機関同士が緊密に連携することにより、地域の皆様の医療ニーズに積極的に答えていきたいと考えております。

- 院長 橋本 憲一
- 住所 大田原市元町1-2-4
- 電話 0287-22-2220
- 診療科目 内科、呼吸器科
- 休診日 木曜日午後、日曜日、祝日



橋本内科クリニック

地域医療連携についてくかかりつけ医を持ちましょう

医療社会事業部 地域医療福祉連携課長 鈴木道男



当課は地域における病院・診療所等との医療連携を図り、紹介患者さんの受け入れや、逆に当院から他施設への患者さん紹介を円滑に行う部署で「地域と当院を結ぶ窓口」であります。主な業務としては紹介・逆紹介の他に、外来及び入院患者さんに対する相談業務、入院支援及び退院援助の業務（予約入院患者さんの基本情報聴取や入院オリエンテーション）やがん相談支援及び退院後の関係機関との連携や住環境問題解決のための援助等、幅広く行っております。

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。このため、厚生労働省は二〇二五年（平成37年）を中途に、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム※1）の構築を推進しており、今回はこの構築において重要に関わってくる「地域医療連携」についてご紹介したいと思います。

最近の医療は非常に高度かつ専門的になっており、これまでのように病気になることから元気になるまで、一つの病院で治療を受けるとい

とが難しくなってきました。地域の開業医の先生や病院がそれぞれの専門を活かして、役割分担・協力して患者さんの治療にあたるというのが地域医療連携です。

地域で開業されている先生（例えば内科の先生）は、患者さんを総合的に診療できるよつにと、幅広い分野の知識をお持ちです。一方、当院では高度化・専門化された医療に対応できるようにと、高度な医療に対応するための医療機器・設備を整えております。そこで、地域の開業医の先生方からご紹介をいただいた患者さんに専門的な検査を行い、診断をして、患者さんと相談しながら今後の治療を決定し、当院で必要な専門的な治療や手術を行うことが当院の役割と考えています。

実際に病気になるってしまった場合

まずはお近くの先生に診ていただくことが良いと思います。その先生は豊富な経験と幅広い知識で診療してください。そして、より専門的な検査や治療が必要な場合には、病院に紹介状を書いてください。当院の場合、紹介状があると、受診の予約を取ることができ、当日の予約状況にもよりますが、予約時間に極力優先的に診療できるような心掛けておりますので、スムーズに受診していただけます。この点からも「かかりつけ医」を持たれることをお勧めします。

「かかりつけ医」とは

患者さんの日常的な診療をしてくださる、身近なお医者さんのことです。慢性的な病気や一過性の病気（風邪等）、気になる症状なども診察時に相談できます。ご家族も含めて病歴、病状、健康状

態、生活環境や嗜好まで把握していただけるので、いざという時に対応していただけます。また、平日の午後や土曜日も診療されているところがありますので、受診しやすく、待ち時間も少ないと思います。さらに、専門的な検査や治療、手術が必要な場合は、当院も含め他の急性期※2を担当している病院を紹介してまいります。

紹介状には患者さんのこれまでの経過などが詳しく記載されているので、検査やお薬の重複がなく、病院での診療がスムーズにできます。そして、病院での治療が終わっても、引き続きの治療やお薬の処方、経過観察が必要な場合は、「かかりつけ医」の先生に診ていただきます。

当院は患者さんの診療情報(お薬の内容や検査結果等)を「かかりつけ医」の先生と専用回線を用いて共有するとちまるネット※3を利用して「かかりつけ医」の先生と当院が緊密に連携しているので、患者さんにもより良い医療が提供できます。

「かかりつけ医」をお持ちでない患者さんがいらっしゃいましたら

ご自分も含めご家族全員の健康管理をお願いするので、何でも気軽に相談でき、信頼関係の築ける先生を見つけれられることをお勧めします。当院でも地域医療福祉連携課内に「かかりつけ医紹介相談窓口」を設置しておりますので、いつでも相談いただけます。

当院では、地域の先生方と勉強会や研修会、情報交換の場を持つなどして、連携を深めています。このような、当院と地域の先生方との連携をスムーズにする役割も当課が担っております。これからも地域住民の皆様にも、質の高い医療を

安心・安全に受けていただくため、一人の患者さんの治療を一つの病院で完結する医療ではなく、地域の中でそれぞれの専門・分野で完結できる医療を目指し、これまで以上に地域の医療機関と連携していきたいと思っております。

※1 厚生労働省が二〇二五年を目途に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できるシステムの構築を目指しております。

※2 緊急・重症な状態にある患者さんに対し、高度で専門的な医療を24時間体制で提供する病院。

※3 患者さんの同意(同意書を取得して)のもと、情報提供施設(病院)に保管されている診療情報を医療機関の間で共有して診療に役立てる栃木県全域のネットワーク。



イメージ図

地域の中で完結できる医療を目指して



日常的な予防と治療、体調が悪い時の通院診療、健康管理、等

紹介状

専門的な治療や検査及び専門治療を要する入院



紹介状

専門的な検査や入院が終了

10月 災害対策本部設置訓練

局所災害発生時/10月20日(火)

普通列車とタンクローリーとの衝突脱線横転事故を想定した、局所災害発生時の災害対策本部設置等訓練を実施しました。今回は、※1 机上訓練を中心とし、職員はもちろん県北健康福祉センターと那須地区消防本部警防課の職員にも参加して頂いて実施しました。机上訓練は初めての試みで課題も多々ありましたが緊張感があり、とても有意義な訓練になりました。

災害は、自然災害、局所災害、特殊災害と様々になり、これからも訓練を実施し地域の為に対応できるよう日々努力していきます。



真剣に訓練に取り組むようす。

11月 第15回全国赤十字病(産)院スポーツ大会

バレー部・駅伝部参加/11月1日(日)

伊勢赤十字病院が当番となり開催され、当院からはバレー部と駅伝部が出場しました。駅伝部は3年連続の参加、バレー部は※2 日赤東部ブロックの代表としての出場となりました。上位進出は逃しましたが選手をはじめ役員のみなさん、本当にお疲れさまでした。来年度は長崎で開催される予定です。



バレー部のみなさん、お疲れ様でした。

第15回メディカル講座

大田原市健康長寿都市推進委員会 那須赤十字病院共催/11月7日(土)

今年で15回目となるメディカル講座が那須赤十字病院を会場として開催されました。

今回は、那須赤十字病院 血液内科部長 小林洋行先生による「がんにならない食事、がんになってからの食事」と、那須赤十字病院緩和ケア認定看護師 立川奈津子さんによる「緩和ケアについて」の2つの講演が行われました。講演は来場者の笑いも誘い、大盛況のなか無事終了しました。

那須赤十字病院はこれからも最新医療情報から身近な医療情報を発信していきたいと思えます。



食材を並べての小林血液内科部長の講演。

託児所における手洗い教室

那須赤十字病院 託児所「ポケット」/11月21日(土)

託児所の子供たちに、手洗いについてもっと知ってもらおうと、感染管理認定看護師による手洗い教室が開催されました。子供たちは、紙芝居で勉強したあと、DVDの手洗いソングに合わせて一生懸命手洗いを行いました。がんばったご褒美に手作りのメダルが授与されました。



看護師と一緒に元気に手洗い。

12月 リハビリ クリスマス会

リハビリスタッフによるイベント/12月5日(土)

入院生活が長引く患者さんに、季節感やメリハリをもたらすことで心身共に元気になってもらおうと、リハビリ室でクリスマス会を行いました。

患者さんはクリスマスツリーの飾り付けや、デザートプリンに好きなトッピングをして楽しみました。また、リハビリスタッフによる、二人羽織と髭ダンスで盛り上がりました。



飾り付けもきれいな、楽しいクリスマス会。

※1 机上訓練 災害状況を想定して机上で対応(あるいは対応を模擬)する形式の訓練

※2 日赤東部ブロック 関東甲信越にある赤十字病院 18 施設

病院祭「マイタウンまつり2015」を開催しました！

第1回目となる病院祭

那須赤十字病院は、当院の基本理念である「マイタウンマイホスピタル」を実行すべく、平成27年10月24日（土）、第1回目となる病院祭「マイタウンまつり2015」を開催しました。初めての試みである病院祭でしたが、全部署をあげて取り組んだ結果、予想を上回る約一、〇〇〇人の地域住民が来場し、多くの方々とおふれあうことができました。

様々な体験やイベントを実施

当日は調剤体験やAED体験、リハビリ体験、血管年齢測定など医療に関することはもちろんのこと、地元の中生や楽団による吹奏楽の演奏会などたくさんのイベントを用意しました。そのうちのひとつ、高校生による「救護班体験」では、実際に救護服に着替えて、心肺蘇生法や簡単な包帯法、災害救護体験や看護師体験を行いました。参加した高校生は将来看護師を目指す方達で「救護体験や看護師の人達と話ができてとても参考になった」と大変好評でした。

公式マスコットキャラクター

「ハートラちゃん」も初登場

そして日本赤十字社の公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」も初登場しました。おでこの赤十字標章、大きなハート型の耳や真っ白な体に赤いしま模様チャームポイントです。これからも日赤の活動を皆さんに広く知っていただくために活動しますので、どうぞよろしくお願いします。また、来場者へのアン



・救急法・幼児安全法・健康生活支援講習
たくさんの方が真剣に講習を受講されていました。



・高校生救護体験 包帯法を体験中
救護服に着替えてのAED体験や心肺蘇生法は貴重な経験になりました。

ケートについても「日赤のイメージが変わった。これからも続けて欲しい」など貴重なご意見を沢山いただきました。那須赤十字病院は今後も地域密着型の病院として、地域の皆さまとの交流を深めるイベントを企画していきたいと思えます。



・医療機器体験
当院の医療技術の紹介や、医療体験を行いました。医療機器を用いた体験は、めったにできません。



・大原市民吹奏楽団
レパートリーが豊富でとても楽しい時間になりました。



・西那須野中学生の吹奏楽は超満員
確かな演奏力とパフォーマンスで最高のステージになりました。



・もちろん与一くんも登場



・ハートラちゃん初登場



・模擬店も大盛況

那須赤十字病院 冬の演奏会

どなたでもお入りいただけますので、お気軽にお越しください。

平成 28 年 1 月 16 日(土) 11 時～(30 分程度)

那須赤十字病院 2 階 マイタウンホール

曲目：矢車、ファンタジア他

演奏：宇都宮海星女子学院(中学校・高等学校) 箏曲部
申込不要、無料です。



編 集 後 記

明けましておめでとうございます。本誌は日常行っている医療内容、病院の取り組みや地域における役割などを皆様にお伝えすることを目的に平成 25 年 2 月に「プラタナス」第 1 号が発刊され今回で第 12 号を迎えることができました。年 4 回の発行になりますが、皆様に親しまれる広報誌を目指し、院内の情報を発信していきたいと思っています。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

広報係長 秋元 英輝

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に「CroKuma救護服」「CroKumaナース」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

●応募先

郵送/ 〒324-8686 大田原市中田原1081-4

那須赤十字病院 総務課 プラタナス第12号 プレゼント係

FAX/ 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタナス第12号 プレゼント係」

メール/nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタナス第12号 プレゼント係」

●応募締切り 2016年2月29日(月)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



プレゼント



●●がんのつどい●●

平成 28 年 2 月 6 日(土)

10:00～11:00

那須赤十字病院 会議室 1・2

リハビリテーション

アドバイザー：理学療法士 呉 和英
作業療法士 荒井 明子

平成 28 年 3 月 5 日(土)

10:00～11:00

那須赤十字病院 会議室 1・2

フリートーク 年間計画

※申込不要。直接お越しください。

那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタナス 那須赤十字病院広報誌プラタナス No.12

発行日 2016年1月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷